

中国人留学生 郭倩鈺さん 帰国

昨年の9月から国際教養科2年7組に在籍していた中国からの留学生、郭倩鈺(かく せいぎょく)さんが、約11ヶ月の滞在を終えて7月12日長野を発ち、15日には無事中国へ帰国しました。

7月10日にはクラスでお別れ会を行い、郭さんはクラス全員の前で素晴らしい日本語で日本での思い出を語りました。日本では本当に楽しい思い出がたくさんできたようで、途中、感極まって涙で言葉が出ない場面もあり、もらい泣きをする生徒も大勢いました。日本の大学を受験してもらって、また会えることを楽しみに待っていたと思います。お元気で！



思い出を語る郭さん



2年7組の生徒とともに

新 ALT との交流会のための講習会(7/14)

8月10日に県の新 ALT の先生方との交流会を予定しています。そのための事前講習会を1年6組で行いました。県の担当者2名に来ていただき、概略、進め方等の説明を受けました。当日は、書道や遊びなど日本の文化、伝統をいくつかのグループに分かれて順番に ALT の先生方に教え、体験してもらい、交流をする予定です。



信州大学 異文化理解授業 (7/21)

恒例の高大連携授業が、国際教養科1年生を対象に行われました。今年も信州大学教育学部の小池浩子先生と徳井厚子先生、現代教育コースの学生の皆さん5名に来て頂いて、「異文化理解」の授業を実施して頂きました。小池先生のお話の後、学生達が立案した授業を実際に受講しました。ペアになって、時間認識の違う2人をロールプレイで演じてみて、感想や意見を発表し合いました。多くの意見や指摘が出され、生徒たちの豊かな発想に感心しました。生徒たちは非常に楽しそうに授業に取り組み、先生方、学生たちはその反応の良さに大変驚いていました。



アマンダ先生お別れ (7/21)

7月いっぱいALTのアマンダ先生が本校を退任となりました。本校には10年間という長きにわたってお勤めされ、国際教養科の専門科目の授業ばかりでなく、普通科の授業でもTeam Teachingを行ってくださり、常に優しく生徒の相手をしてくださいました。

8月からは松本の方でお勤めになるそうですが、アマンダ先生は西高が大好きで、また是非戻ってきたいとおっしゃっていました。

アマンダ先生！いろいろありがとうございました。

お元気で！！



離任式で挨拶するアマンダ先生

梶の葉大学 東京外語大 水野先生模擬授業 (7/25)

おもに2年生を対象に、いくつかの大学、学部の先生をお呼びして模擬講義を行う本校恒例の「梶の葉大学」が7月25日に開催され、語学・国際系の希望者を対象とした講座では東京外国語大学の水野善文先生がおいでになり、「じつは奥深かった身近な文化——さかのぼって天竺へ」というタイトルで講義をしていただきました。多くの国際教養科の生徒が受講しました。仏教の専門的な話はかなり難しかったようですが、生徒たちはメモをとりながら熱心に話を聞いていました。



中学生体験入学 お手伝い (7/28)

7月28日(金)、中学生の体験入学が行われ、国際教養科の生徒何人かがお手伝いをしました。まず、2年国際教養科の生徒が5名、全体会で国際教養科紹介のプレゼンを英語で行い、体験授業の終了後に1, 2年の国際教養科の生徒計16名が、4人ずつのグループに分かれ、国際教養科の説明をしながら中学生と交流会を持ちました。



国際教養科説明
プレゼン

授業交流の
ようす

